



●第6回皮膚病理講座基礎編 大阪会場 のようす

於 大阪市立大学医学部



クリックで拡大画像が見られます。



講師の説明に、皆さん熱心に耳を傾けられています。

開催前、ホームページ上で予習用にハンドアウトを公開しました。

◆ 研修医のご紹介



天候の悪いなか、ご参加有り難うございました。



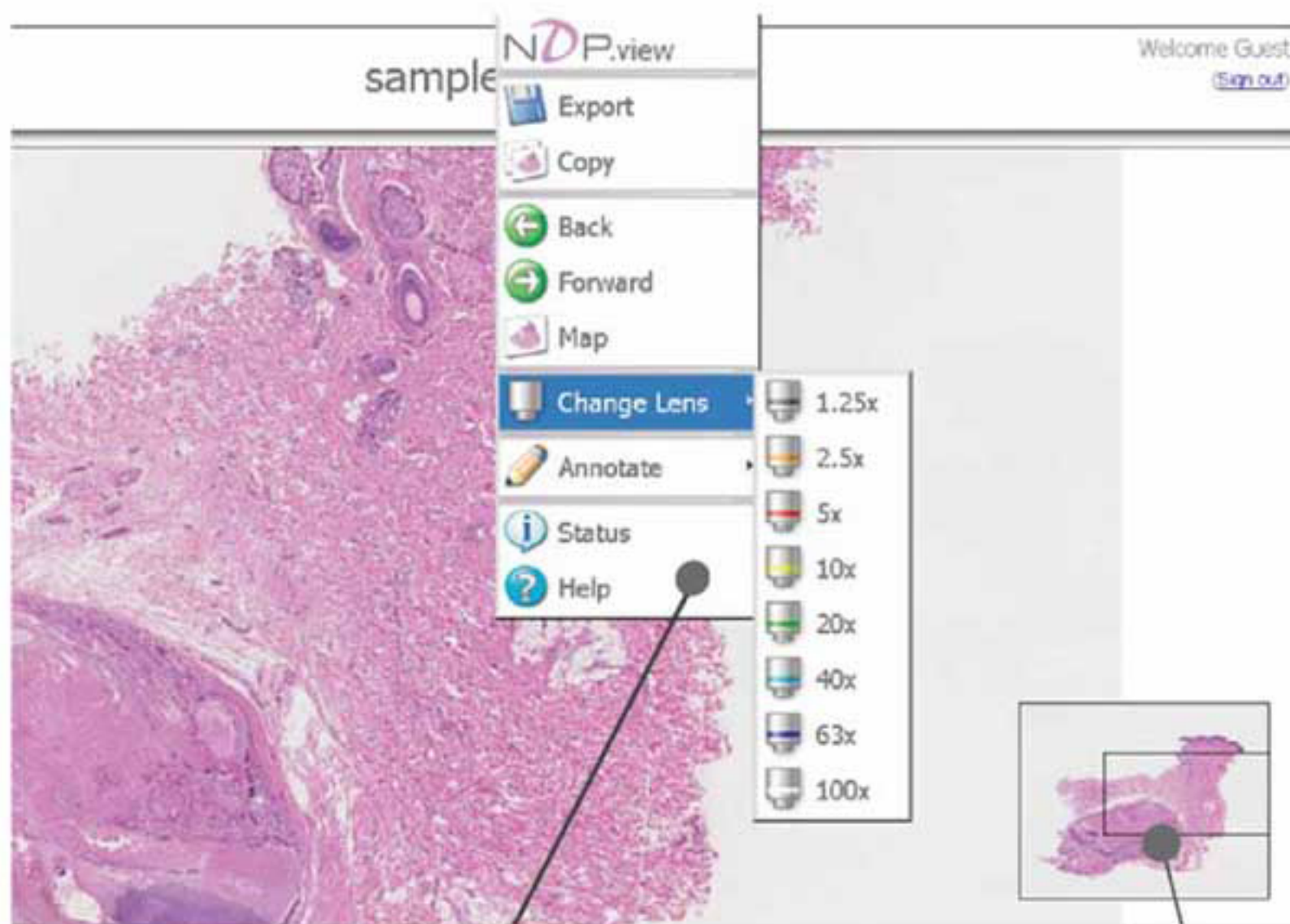
中央：兼古理恵先生。この7月から研修を始められました。2008年3月末までの研修です。

●お盆期間 営業のお知らせ

札幌皮膚病理研究所は、お盆期間も日曜日を除き、休まず営業しております。

●バーチャルスライド作成サービス はじめました。

低価格でバーチャルスライドを作成します。



フォーカス・拡大・メモの書き込み・距離の測定など、さまざまな操作ができます

右下にある、全体像の縮小版で観察部位を確認できます。

バーチャルスライドとは

専用機器でガラス標本（スライド）を専用機器でスキャンし、データをデジタル化したものです。顕微鏡で見るときと同じ感覚で、好きな部分を好きな倍率で、病理組織像を見ることができます。

- PC上でのデータ管理ができます。ガラス標本の出し入れ・整理の手間が大幅に省けます。
- データとPCさえあれば画像が確認でき、どこにいても診断が可能です。
- 画像はjpgとして保存が可能です。撮影装置のついた顕微鏡が必要ありません。
- 検討会・学会用にデジタル化したデータを用いることができます。同じガラス標本を人数分作成したり、人数分の顕微鏡を揃える費用と時間が省けます。

※閲覧用ソフトを無償提供いたします。

今後のスケジュール



- 2007.8.24(金)-25(土)
第6回日本テレパソロジー／バーチャル
マイクロスコープ研究会
会場：米子コンベンションセンター

- 2007.9.22(土)-23(日)
第71回日本皮膚科学会東部支部学術大会
会場：ロイトン札幌
一般演題 間葉系腫瘍① 座長：木村鉄宣
演題発表：古賀佳織、秦洋郎、木村鉄宣
演題名： Proliferative nodule を伴った
色素細胞性母斑の1例

セミナー

- 2007.9.16(日)-17(祝)
皮膚病理診断学入門
会場：慶應大学医学部 東校舎講堂
講師：木村 鉄宣

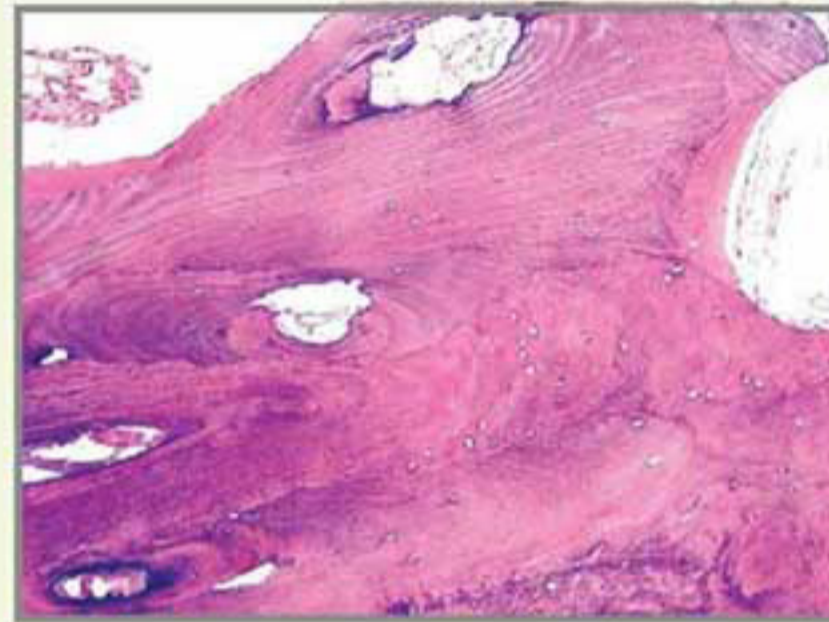
- 2007.10.20(土)-21(日)
第58回日本皮膚科学会中部支部学術大会
会場：国立京都国際会館
CPCコメンテーター：木村鉄宣

今月の症例

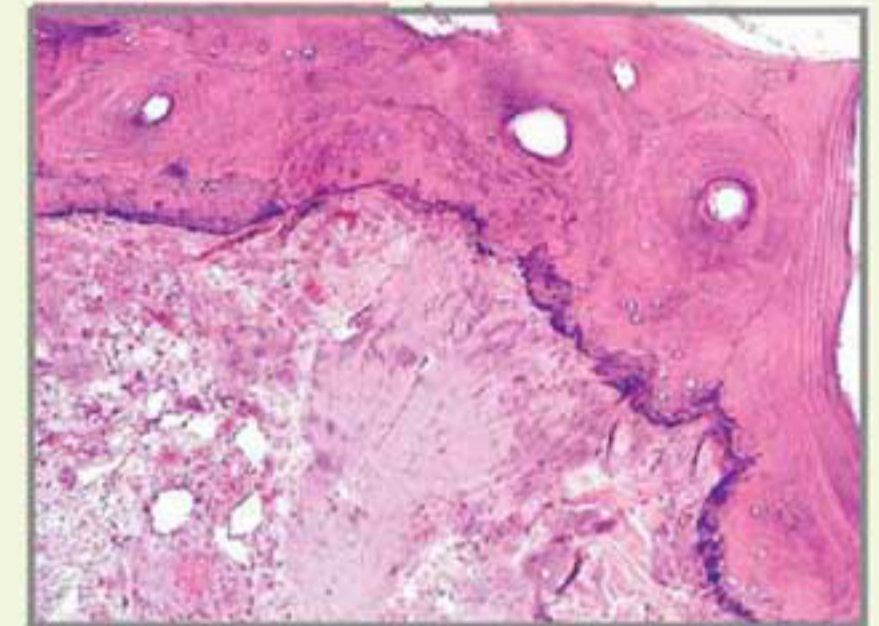
55歳女性 生検部位：指 臨床診断：osteochondromatous change
病理組織診断：Osteoma cutis



異所性の骨組織が形成されている
(この症例では真皮内から摘出)。



ハバース管とセメントラインがある。
Osteoclast はない。間隙には成熟脂肪細胞もある。



骨組織に隣接して著明なムチン
沈着がある。

セミナーのご案内

皮膚病理診断学入門

- 各種皮膚疾患の病理組織像を理解します。
- 皮膚病理診断学の3要素、診断基準項目、診断のてがかり、そして鑑別診断を具体的に把握します。
- 皮膚病理診断の方法「パターン分類とアルゴリズム解析」を理解します。

● 皮膚病理診断学入門

2007.9.16(日) 10:00-17:00
-17(祝) 9:00-16:00

会場：東京都新宿区信濃町35番地 慶應大学医学部 東校舎講堂

共催：慶應大学医学部 8/15までにお申込された場合、早期申込料金28,800円となります
受講料：32,000円

新着情報はホームページ (www.sapporo-dermpath.com) で随時紹介されます。

札幌皮膚病理研究所

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842
e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: <http://www.sapporo-dermpath.com>

編集担当：佐藤 尚子